

血液検査

生化学検査	項目		基準値	単位	検査内容の説明
蛋白	TP	総蛋白	6.5~8.1	g/dL	血液中のタンパク質の総量をあらわし、一般に健康や栄養状態の指標として利用されます。
	ALB	アルブミン	3.7~5.1	g/dL	アルブミンは代表的なタンパク質の一つで栄養状態の指標になります。
肝機能	T-BIL	総ビリルビン	0.2~1.2	mg/dL	ビリルビンは赤血球中のヘモグロビンの代謝産物で、種々の肝障害で増加します。増加すると黄疸の原因になります。
	AST(GOT)	アスパラギン酸 アミノトランス フェラーゼ	7~36	U/L	肝細胞、心筋、骨格筋に多く含まれている酵素です。
	ALT(GPT)	アラニンアミノ トランスフェ ラーゼ	5~39	U/L	他臓器に比較し、特に肝臓に含まれており、肝細胞障害における特異性がASTに比べ高い酵素です。
	γ-GT	γ-グルタミル トランスフェ ラーゼ	男 84以下 女48以下	U/L	アルコール性肝障害の指標に有用です。肝臓や胆道に病気がある場合に他の酵素より早く異常を示します。
膵臓	AMY	アミラーゼ	37~134	U/L	膵臓や唾液腺より分泌される消化酵素で急性膵炎や耳下腺炎で上昇します。高値の場合はアイソザイム検査で由来臓器を推定します。
心機能	CK	クレアチン キナーゼ	36~188	U/L	骨格筋や心筋の破壊を反映して上昇する酵素で、急性心筋梗塞や多発性心筋炎で上昇します。 運動後や筋肉注射を受けた後も増加することがあります。
腎機能	BUN	尿素窒素	8.0~22.0	mg/dL	腎臓の働きをみる検査です。 腎臓から排泄される老廃物で、腎機能が悪くなると増加します。
	Cre	クレアチニン	男0.61~1.04 女0.47~0.79	mg/dL	
	UA	尿酸	7.0以下	mg/dL	痛風と密接な関係があります。関節に突然激痛が起こる病気が痛風で、足の親指に発症しやすいと言われます。
電解質	Na	ナトリウム	135~148	mEq/L	血液中の電解質の濃度です。腎臓の病気やホルモンの異常、脱水などで増加したり、減少したりします。
	K	カリウム	3.5~5.0	mEq/L	
	Cl	クロール	96~110	mEq/L	
	Ca	カルシウム	8.6~10.2	mg/dL	骨代謝だけでなく筋収縮、血液凝固にも必須な物質です。
糖代謝	GLU	グルコース (血糖)	55~109 (空腹時)	mg/dL	血液中のグルコース（血糖）濃度です。糖尿病で高値となります。
	TG	中性脂肪	35~149	mg/dL	エネルギー源として重要ですが、高すぎると動脈硬化の危険因子となります。食後に高くなります。
炎症反応	CRP	C反応性蛋白	0.30以下	mg/dL	炎症や組織の損傷で上昇します。

血液検査	項目		基準値	単位	検査内容の説明
血算	WBC	白血球数	男39~98 女35~91	$\times 10^2/\mu\text{L}$	身体に侵入した細菌や異物を取り込み、消化・分解したり、免疫の働きをしています。白血球が増加したり減少したりすることは、身体のどこかに細菌などが入り込んだり炎症を起こしたりしていることを示しています。
	RBC	赤血球数	男427~570 女376~500	$\times 10^4/\mu\text{L}$	体内に酸素を運び、二酸化炭素を受け取る働きをします。赤血球の生成には鉄やビタミンB12などを必要とします。赤血球が減少しているときは、出血や貧血などの可能性があります。
	Hb	ヘモグロビン	男13.5~17.6 女11.3~15.2	g/dL	赤血球に含まれる色素で全身の細胞へ酸素を運ぶ中心的な役割を担っています。主に貧血の程度を示唆します。
	Ht	ヘマトクリット	男 39.8~51.8 女 33.4~44.9	%	血液中に含まれる赤血球の割合を%で表した数値で、貧血の程度の指標となります。
	MCV	平均赤血球容積	男 82.7~101.6 女 79.0~100.0	fL	赤血球の大きさの平均値で、赤血球の大小がわかります。
	MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	男 28.0~34.6 女 26.3~34.3	pg	赤血球の中に含まれているヘモグロビンの平均値を表します。
	MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	男 31.6~36.6 女 30.7~36.6	%	赤血球容積に対するヘモグロビン量を表します。
	PLT	血小板数	13.0~36.9	$\times 10^4/\mu\text{L}$	出血した部位に集まって止血する働きがあり、止血能力の指標のひとつになります。
凝固	PT	プロトロンビン時間			血液の凝固異常を調べる検査です。ワルファリン治療時に薬の量を調節するために測定します。肝機能の悪いときも異常値となるため、肝機能の指標にもなります。
	PT-INR	PT国際標準比			
	APTT	活性化部分トロンボラスチン時間	45.0以下	秒	血液の凝固異常を調べる検査です。血友病など出血性疾患の診断やヘパリン療法でのモニタリングにも必要な検査です。